2026/11/8 リユニオン in 多摩 ウェルカムメッセージ　　学長 大日向雅美

皆様、「リユニオン in 多摩 ファイナル」にようこそいらしてくださいました。
私たち多摩キャンパスの教職員は、今日のお天気のように、さわやかに、おだやかな
気持ちで皆様をお迎えしております。

3 年半前、2023 年 3 月は、絶望の底にうずくまっていました。
過去が消え、未来も見えない、そんな中、今をどう生きたら良いかわからない、そんな絶望でしたが、そこから立ち直る力をいただけたのは2つ。
1つは在学生たち。恵泉女学園大学を信じ、最後までこの多摩キャンパスで学び続けたい・・・とほとんどの学生が残ってくれました。

そして、卒業生の皆様です。母校がなくなる寂しさを胸に秘めながらも、私たち教職員を励まし、後輩たちを気遣う言葉をたくさんたくさん届けてくださいました。

乗り越えられない壁はないと、よく言いますが、私はそれは少し違うように思います。どんなに頑張っても乗り越えられない壁、どんなに力を尽くしても倒せないほどの厚い壁があることを、私たちは身をもって経験したここ数年です。

ただし、あきらめず、今を懸命に生き続けていく、道のりさえ間違わなければ、必ず新しい景色が見える。その景色の中に新たな希望と幸せが見つけられる・・・。

今、このキャンパスでは、学生たちが「咲き誇れ！恵泉の花」というテーマで恵泉祭ファイナルを展開してくれています。その心には、自分たちも先輩の後に続くんだ、先輩たちのように！・・という願いがこめられています。建物はなくなっても、母校の絆が心の中でたしかに紡がれていくという新しい景色、明るい光を見る思いです。

この多摩キャンパスが実質的に閉じるまでにはまだいくつかの道のりがあります。有終の美を飾ることを誓いながら、日々、教職員が頑張っております。今日は朝からたくさんの卒業生とお話しをさせていただきました。お一人おひとりが、それぞれまぶしいほどに輝いておられます。
最後まで頑張る力を今日、皆様からいただけたことに心から感謝申し上げます。
感謝をこめて、“おかえりなさい”と申し上げます。有難うございました。